

1 次の文の——の慣用句の意味をあとのア〜オの中から一つずつ選び、() に記号を書きなさい。(各50点)

1 いろいろとお世話になっているかれには、頭が上がらない。

2 姉の思いがけない言葉に耳をうたがう。

3 父は地元では顔が広い。

4 勉強せずにテストでいい点を取ろうなんて、虫がいい話だ。

5 公共の場では静かにするようにくぎをさす。

() () () () () () () () () ()

- ア 思いがけないことを聞き、聞きまちがいではないかと思う。
 イ いろいろな人に知られている。
 ウ 引け目を感じたり恩があったりして、対等にふるまえない。
 エ 問題が起きないよう、あらかじめ念をおす。
 オ 自分勝手ですうずうしいこと。

2 次の文の——は、体の一部を表す漢字が入る慣用句です。あとの意味にあうように() にあてはまる漢字一字を() に書きなさい。(各50点)

1 あまりの難問に、() をかかえる。

意味：こまっでどうしたらよいか考えこむ。

2 友人の学校の文化祭に、() を運ぶ。

意味：わざわざ出向く。

3 この絵を選ぶとは、さすがに() が高い。

意味：物事を見分ける力がすぐれていること。

4 クラス会で久しぶりに全員の() がそろつう。

意味：出席する予定の人が全員集まる。

5 兄から失敗を指てきされて() がいたい。

意味：欠点や失敗を言われて、聞くのがつらい。

() () () () () () () () () ()

← 次のプリントにつづく

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう

3 次の文の□にあてはまる言葉をあとの□の中から一つずつ選んで書き、慣用句を完成させなさい。なお、同じ言葉は二回使えません。(各5点)

1 母が□を打ちながら弟の話の話を聞いている。

2 毎日練習しているの、おどるすがたが□

についてきた。

3 過去の出来事は□に流して仲よくする。

4 旅先で思いきり□をのばす。

5 作業人数が少なすぎて、このままでは□が明かない。

6 ゲームで手加減して、妹に□を持たせる。

- 相つち 羽 花 板 らち 水

4 次の文章の①～⑥は慣用句とその一部です。(①)。(②)にあう言葉をそれぞれひらがな二字で□に書きなさい。また、③～⑥の中から、使い方をまちがえているものを二つ選び、()に記号を書きなさい。(各5点)

先週の校外学習で、わたしは(①)をおどらせながら市のプラネタリウムをおとずれた。目の前いっぱい広がる星空は、(②)をのむほど美しかった。

係の人の話によると、地方の小さな市にプラネタリウムを造つても、お客さんが来ないのではないか、総工費がかかりすぎて、財政が(③)火の車になるのではないかと、反対意見も多かったそうだ。しかし、地元住民の(④)油を売るような努力の結果、プラネタリウムの建設が許可された。それは、プラネタリウム建設への動きが始まってから、十年という(⑤)気が置けないような長い年月のあとだったという。

このプラネタリウムは、今では全国的にも人気のある観光スポットの一つとなっていて、わたしたち市民としてもたいへん(⑥)鼻が高い。

① □
□

② □
□

使い方をまちがえているもの () () () () () ()

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本



かっこいい小学生になろう